

スローライフへの提言 1



飯館中学校1年

佐野 祐基 君

スローライフってなんだろう？僕は最初に思いました。スローライフ＝訳せば「ゆっくりとした生活」ということになりました。それってどういうことだろうと思いました。

スローフードという言葉があります、これについては家庭科の授業で習いました。この言葉はイタリア北部の町でおこなった運動のことで、消えつつある郷土料理や質の良い食品を守ろう、よい素材を提供する小規模な生産者を守ろうというもの

です。つまり、出所のはっきりした素材を使う。食を見なおすことです。これを生活に当てはめてみると、生活を見なおすということになります。

今の世の中、都会では人の顔に覇気が感じられず、キレる子供や、子供を育てられない親、リストラや倒産によって自殺をしてしまう人……世の中のこのような状況は、これまでスピードで発展してきた仇（あだ）なのかもしれません。

はるか昔、縄文時代、人は、朝起きて、日中は狩をして、日が沈めば帰宅し、寝ました。このように人々はマイペースで生活してきました。当時はきつと不便だったことでしょう。しかしその不便さは、人々の生活には何ら差し支えもなく、幸

せに暮していたと思います。

今はどうでしょう？交通の整備、情報伝達技術の進歩により、とても便利になりました。しかし、発展とともに何か大切なものを置いてきてしまったと思います。だからといって、今現在の暮らしを縄文時代に戻すわけにはいきません。このような世の中だからこそ、スピードとスロー、進歩と見直しの共存が大切なのではないかと思います。

僕は4年前まで横浜市に住んでいました。ここに越して来て、その大事な「何か」を見つけたような気がします。この飯館村には、幸いその大切な「何か」があります。今、世界は深刻な問題を抱えています。環境問題です。むやみに行われる

今回から5号連続で「新春村民のつどい」で行われた第5次総合振興

計画提言、テーマは「もっとたいない」の内容を紹介いたします。

森林伐採、過放牧、耕地化による砂漠化、工場、自動車から排出される二酸化炭素による地球温暖化、フロンによるオゾン層の破壊等々、きりがないうぐらいの問題を抱え込んでいます。これらの問題も急速に発展を遂げてきた人類へのしっぺ返しです。経済面においても同じようなことが言えます。そんな世の中だからこそ「スローライフ、つまり急速な発展の陰で忘れられてしまった物をも一度見つめなおすこと」が必要となってくるのだと思います。

ぼく達には何ができるのでしょうか。まずは身の回りの小さなことから始めることが大切です。今まで猛スピードで駆け抜けてきた世の中ですが、ちょっと立ち止って見る

のいいと思います。この村の良さを再評価するのも一つです。飯館村のすばらしい自然環境、家庭や地域での人と人とのふれあい。これらは当たり前のことようにも思えますが、このような世の中にあっては、本当は貴重なものなのかも知れません。飯館村にある豊かさを大切に思う心、これがスローライフの考え方につながるのだと思います。飯館村が、このような考え方に立って生活し、つまり、スローライフを実践し、全国へ発信していったほしいと思います。そしてスローライフ＝飯館村といわれるようになればと思います。なぜなら、この考えが広まれば、世界は人に優しい、住みよい場所になってくると考えるからです。